



## 各学年の教育活動

### ◎ 一年 「みんなでえがお」

友達と話話し合い、助け合つことを重ねて、一緒に笑顔になる喜びをたくさん経験しました。生活科「あきみつけ」の学習では、自分で見つけたどんぐりや落ち葉などから、さあざまなおもちゃを作りました。作ったおもちゃで友達と遊ぶ活動は、自作のおもちゃを披露する「あきまつり」へ発展してきました。学級での学習から学年へ、さらに「日頃お世話になっている六年生を招待したい」と活動が広がりました。「みんなをえがおにできるようになって、じぶんもうれしくなつて、あきまつりだいせい」と振り返る姿からほ自身の成長を実感する思いが表していました。これからも関わる人たちを笑顔にすることができる姿を期待しています。



あきまつり

### ◎ 一年「やつてみよう～がいっぱいの一年間」

生活科「花田のすてきを見つけよう」の学習では、校区の人の仕事の様子や思いなどをインタビューしました。店員さんがお客様の喜ぶ顔を見たくて「品物をそろえていることや、自治会長さんや町の人たちのために公園の掃除や花壇のお世話をしていることなどを知りました。そして、「校区には、いつもがおでがんばっている人がたくさんいるよ」「こんなすてきな大人になりたいな」という気持ちで、「校区のすてきがこれからも続くように、私たちが花田校区をすてきにしたい」という思いをもちました。大きな地図は、子どもたちが見つけたたくさんのはずきで、「やつてみよう！」という気持ちでいろいろなことに挑戦する一年生でいてくれることを願っています。



お店でインタビュー

### ◎ 四年「スーパーTENSAIになつたね」

社会科や総合的な学習では、豊橋筆の伝統工芸士さんや、くらしを守っている人たちに会い、お話を聴いたり、活動に触れたりしたことで、その思いや願いを考えられるようになりました。花田校区には、いつもがおでがんばっている人がたくさんいるよ」「こんなすてきな大人になりたいな」という思いを感じ取り、「自分たちでも何かができるのではないか」と考えるようになりました。そのことが、全校アンケート調査や校区防災訓練での新聞による発表につながりました。



お店の見学

### ◎ 六年「仲間とともに『鐘』を鳴らした一年間

「自分一人だったらこんなにきれいにならなかつた」。牟呂用水浄化活動に参加した児童の言葉です。この一年間、一人一人が自らの役割を果たしながら、さあざまな行事を成功に導いてきました。委員会活動やクラブ活動、全校集会の運営なども、児童が中心で運営する力が大きくなり、毎年、児童が主導で運営する力が大きくなりました。そのことが、今年度は、学校のリーダーとなります。学校のために何ができるのか、自ら考え、行動する姿が今から楽しみです。



野外教育活動 砂山づくり

### 南校舎改修工事終了・運動場整備完了

令和7年1月、南校舎改修工事終了。二年生から四年生たんぽぽ学級が新校舎に移動しました。教室・廊下・階段はビニールカーテンで、教室の黒板は光が反射しにくいグレーを基調にし、上下に動かすことができます。



販売練習

### ◎ 三年 「SUNライズ～成長の一周年～」

三年生から始まった社会科総合的な学習では、校外学習に数多く出かけました。特に本年度は校区にある「未来に伝えたいお店（工場）」の魅力を発見する」という目的をもって、いろいろなお店や工場に協力していただき、学習をすすめました。お店の内側を見たからわかること、質問をして初めて気づく働く人たちの工夫や思いなど、多くのことを学ぶことができました。

スポーツフェスティバルのソーラン節は、授業での練習に加えて、休み時間にも音楽に合わせて自主的に力いっぱい踊りました。本番の演技につながりました。普段の生活や係活動でも、友達と相談しながら活動を工夫する姿が多く見られ、成長を感じました。

これからも何事にも全力で取り組み、成長し続けてほしいと思います。

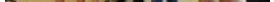
当日は、練習の成果をしっかり発揮することができました。事前に交通ルール、施設利用や渥美線乗車時のマナー、教師自作の券機を使つた往復切符の買い方などを学習しました。当日は、安全に気をつけて歩いたり、上手に乗車券を買つたり、仲よく活動したりでき、また出かけたいという思いが高まりました。

今後も社会に出たときには必要となる力の育成のために、一人一人の成長を促す支援に努めます。

### ◎ 五年 「未来へ一步 前進した一年間

野外教育活動では、みんなのためにできる」とを考え、一人一人が自らの役割を果たし、一人でできないことも協力すればできるという達成感を味わいました。福祉学習では、なげない日々常に多くのバリアが存在することに気づき、体が不自由な人々のために自分にできることは何かを直剣に考えました。学習発表会では、学年演奏に挑戦し、全員で心を一つにし、思いを込めて演奏するエネルギーが聴き手に感動を与えることを実感し、充実感を味わいました。

学年目標「歩」にこめた願いのとおり、前に向かって出したその確かな一步が次の一歩となり、新しい可能性へとつながる一年となりました。来年度は、学校のリーダーとなります。学校のために何ができるのか、自ら考え、行動する姿が今から楽しみです。



修学旅行 みんなで創ったレク

### ◎ たんぽぽ学級 「一人一人の挑戦」

本年度も「一人一人の挑戦」を目標に、社会的自立を目指して授業実践を積み重ねてきました。栽培活動では、野菜を大きく育てたい、買ってもらえるようにチラシを作りたい、間違えることなくお釣りを渡したい、という思いを大切にして活動しました。お釣りの出し方を練習する際は、本物のお金を使って何度も練習をしました。販売当日は、練習の成果をしっかり発揮することができました。事前に交通ルール、施設利用や渥美線乗車時のマナー、教師自作の券機を使つた往復切符の買い方などを学習しました。当日は、安全に気をつけて歩いたり、上手に乗車券を買つたり、仲よく活動したりでき、また出かけたいという思いが高まりました。

今後も社会に出たときには必要となる力の育成のために、一人一人の成長を促す支援に努めます。

友達のよさを認め、励まし合の姿が広がっています。来年度もさまざまな活動に「やる気」をもつて取り組むことで、一人一人がすてきなTENSAIとしての姿を輝かせていくほっとい運動したり、遊んだりできるようになりました。

## 令和6年度 花田小学校「教育活動の評価」

中期目標	重点努力目標（評価項目）		自己評価	総合評価	関係者評価	今後の改善方策等
子どもの主体性を引き出す授業づくりを工夫し、生活に生きて働く知識・技能の習得と粘り強く取り組む心の育成（読解の学び）、よりよく問題を解決する資質・能力の育成を図る。	子どもの主体性を引き出す授業づくり	「できた」「わかった」「もっとやりたい・知りたい」「がんばってよかった」という学ぶ意欲や達成感を高める授業づくりに努め、基礎・基本となる学力の定着・向上を図る。	A	A	A	チャレンジテストは、学力定着だけでなく、学習習慣を定着させるためにも効果がある。今後も子どもに目標をもたせ、計画的に学習に取り組めるようにしていく。 花田校区は、子どもたちが学ぶ魅力的な素材がたくさんある。地域に出かけ、多くの「ひと・もの・こと」に学ぶことで、地域を大切にする子どもを育っていく。 タブレット端末を有効活用した授業を行うために、教員研修を充実させていく。また、タブレット端末を活用した授業公開を行っていく。
	生活に生きて働く知識・技能の習得と、粘り強く取り組む心の育成、よりよく問題を解決する資質・能力の育成	① 地域の「ひと・もの・こと」や出前授業などを活用した体験的・学習や問題解決的な学習、タブレット端末を手段として活用した学習を積極的に取り入れ、学びに向かう力を育成する。 ② 協働的な学びや発表の場を計画的に仕組み、思考力・判断力・表現力を育成する。	A			
道徳教育と特別活動の充実に努め、自主・自律の心・思いやり・感謝の心の育成を図る。	自主・自律の心、思いやり・感謝の心の育成	① 自分の居場所があり、お互いのよさを認め発揮できる温かな学級・学年集団づくりを行う。 ② 子どもどうしが互いのよさや努力を認め合う場（こころの花運動）のもち方を工夫し、自己有用感・自己肯定感を高めたり、思いやり・感謝の心を育んだりする。	A	A	A	温かな学級や学年・集団づくりのために、「こころの花」カードを学年通信や放送委員で紹介したり、渡り廊下で掲示したりし、活動をさらに活発化させる。 6年生が主体となり活動しているクラブ活動は、子どもの自主性を育てるために継続する。少人数の希望であってもクラブ化できるようにしていく、皆が主体となって活動できるようにしていく。 自分がよいと考えたことをすすんで行えるように、担任は子どものよさを認め、支え、「自主・自律」の心を育てる。
	道徳教育、特別活動の充実	① 道徳教育と特別活動の充実に努める。 ② 子ども理解をもとに成長への願いをかけ、子どもの自主的な取り組みや自律的な言動、他者を思いやる言動などを積極的に「認め・褒め・励ます」言葉かけをする。	A			
心身ともに安全・健康で、安心できる教育環境づくりに最善を尽す。	健康、安全教育の充実	① 感染症予防や食物アレルギー対応に組織的に取り組める仕組みをつくる。 ② 避難訓練・不審者対応やけが防止など、自分の「いのち・からだ・こころ」を大切にし、自分で守れるよう計画的に指導を行う。	A	A	A	けがや事故の未然防止のため、安全面に配慮した教育環境づくりをしていく。また、起きた場合も、的確な対応ができるよう、教員研修で研鑽していく。 児童が不審者対応を学ぶために、外部講師（元警察官）を招き、来年度も防犯教室を全学年で行う。 感染症予防や食物アレルギーの対応は、養護教諭を中心に組織的に取り組める体制づくりを来年度も継続してしていく。
	安全指導と安全管理の徹底	実験・実技・運動などの学習や校外学習における安全指導と、日常的な安全管理の徹底を図る。	A			
	いじめや不登校の未然防止と早期対応	子どもの小さな変化を早期に発見し、早期に対応できる体制づくりに努める。	B			
教職員が心身ともに健康で、教育のプロとしてあるべき力量の向上を図るうとする職場づくりに努める。	授業力・指導力の向上	① 現職研修では「主体的・対話的で、深い学びの実現」をテーマに、授業改善と授業力の向上を図る。 ② 教職員が互いのよさ・強みを認め合い、授業実践や学級経営の工夫、日々の子どもの成長などについて語り合うことのできる教職員集団をめざす。	B	B	B	「主体的・対話的で、深い学び」を実現させるために、思いをもち、友達や地域と関わり合いながら考えを深める学習を工夫していく。そのため、お話タイムを充実させたり、地域で学ぶ機会を増やしたりしていく。また、授業力向上のため、外部講師を招き、授業づくりを学ぶ機会を設ける。 教員研修や行事準備、生活サポートに関する情報交換等をしっかりと行う時間を確保するために、40分授業を計画的に行っていく。また、子どもの健康や生活リズムを考慮して、学期始めに4時間授業を設ける。 不祥事撲滅については、定期的・臨時に指導や意識啓発を行う。また、管理職と教職員が面談することで、何事も話し合える風通しのよい職場をつくる。
	働き方改革の継続・推進	① ノー残業デーの設定、職員会議の年間提案事項の一覧表や2週間分の週報の配付等により、計画的に業務を進められるように配慮し、タイムマネジメント意識、メンタルヘルスへの意識を高める。 ② 会議の目的により、時間・参加者・協議方法を工夫し効率化を図る。 ③ 終業式前日を4時間授業にするなど、業務に取り組める時間の確保に努める。	B			
	不祥事の撲滅	管理職が定期的、臨時に指導したり、関係資料を配付したりすることを通して、教育のプロとしての自覚と使命感、子どものよき手本になるという意識を高める。	A			

※評価 A…十分に達成した B…概ね達成した C…あまり達成されていない D…ほとんど達成されていない



学校改善に向けて

三ページの表は、十二月までの花田小学校の教育活動について、児童、保護者、教職員を対象に実施したアンケート調査の結果をもとに、学校の自己評価と学校サポート委員会（学校評議会委員）の皆様の意見・評価をまとめたものです。

策を柱として、学力の定着・向上、自主・自律の心の育成、安全管理の徹底など、令和七年度の教育活動の充実・改善に努めます。  
保護者の皆様からは、多くの貴重な意見や、「希望をいたしました。アンケートへのご協力ありがとうございました。

## 令和7年度 花田小学校・主な行事予定

◆お知らせ

- 現時点の予定です。始業式の日に「年間行事予定」を配付します。
  - 今回は記載していませんが、職員会議や職員研修、生活サポート委員会等を開催するために40分授業や5時間授業の日があります。  
新年度に配付する「毎月の下校時刻の予定」等でお知らせします。
  - 変更ある場合は、随時、お知らせします。
  - 民間プールでの水泳学習が始まります  
※ ただし、市教委のバス配車計画により、  
実施時期が変更になる場合があります。

#### ◆ 小中一貫教育の取り組み

- ・羽田中学校定期テストと同時にチャレンジテストを実施します。
  - ・牟用水浄化活動と部活動体験会を行います(6年)。
  - ・羽田中学校の合唱コンクールを見学します(6年)。
  - ・7月31日の午後、花田小・羽根井小・羽田中の職員が一堂に会し、  
道徳の授業づくりの講演会に参加したり、生徒指導・特別活動・特別  
支援教育などの分科会に分かれて、指導方針や内容などを協議した  
りします。

R7 水泳学習の予定  
6・7月…2・3年  
9月………1・4年  
11・12月…5・6年